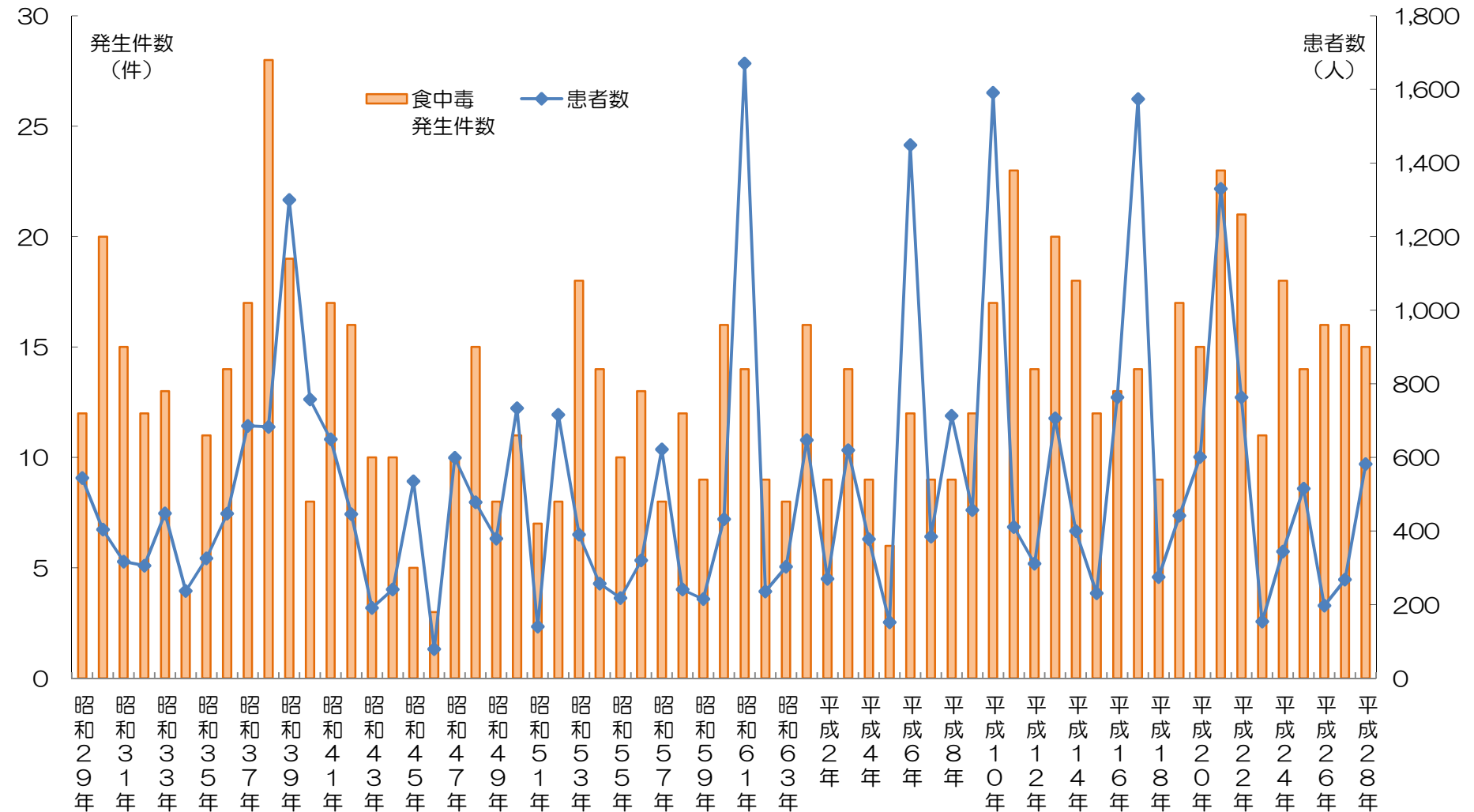




1. 年次別食中毒発生件数・患者数



発生件数の最多は昭和38年の28件、最少は昭和46年の3件であり、この63年間の平均は13.1件である。また、年に20件以上発生したのは6年、15～19件発生したのは17年あり、平成10年以降は多発傾向が続いている。

患者数の最多は昭和61年の1,671人、最少は昭和46年の79人であり、この63年間の平均は年525人、1事件あたりの平均患者数は40人である。また、患者数が1,000人を超えた年が6年あり、いずれも大規模食中毒の発生により患者数が増加している。

食中毒による死者は、昭和29～33年、35、36、38、39、48、50、51年の12年間に延べ18人発生したが、その後、死者は発生していない。